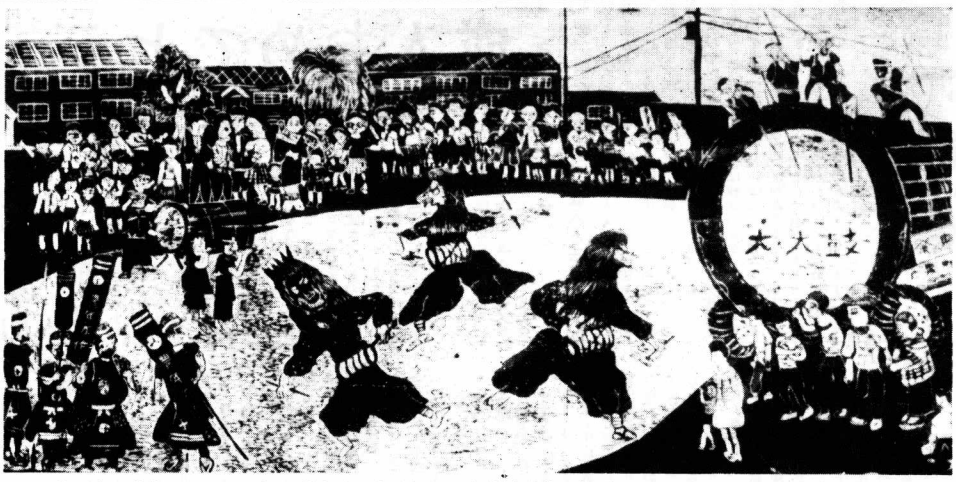
広報たかのす

発行所　鷹巣町役場町長室
電話(代)550番　直通42番
(発行部数　5,850部)
印刷所　成文社印刷所



◆写真は豊作を祈念して舞ふ「獅子と太鼓」沢口小学校所蔵の版画　タテ90cmヨコ180cm　30名の合作◆

新春特集

元旦に当りて

町長　成田喜八

元旦を迎えて、町民各位に新春の賀を述べ、又各位の万福を祈ります。

さて、吾が町は昨年を大局に於て順調に過したと云い得ると思う。即ち町政の諸計画は予定通り進み居ること。風水、火の大災も無く、稲作も一割余の冷害に治まったこと。町政運営の基本である町税の納率も九六%と上昇したこと。

更に公共事業であり、吾が町の振興に多大の影響があるので、町民一般に心配して居った大町の鉄道踏切立体交差の問題も、解決を見るやに進行しつつあること等々である。

次に本年は文教の拡充、産業の誘致等に依る町勢の進展上の力策が、前向きに検討せられつつあるし、他方藤里・鷹巣間と木戸石・鷹巣間の県道編入の案で、何れも四十一年度の計画として、明るい見透しであります。又阿仁合線列車増強も約束せられつつあるがこれ等が実現の際は、吾が町に大きい影響を視ることは必至であることは申すまでも無い。依ってこれが対処に、町内各機構が日頃考案を怠らぬ様に願い度い。

最後に吾が町は、事実巳の規模以上の町政を施行し得るのは、周辺の協力や各機関の厚配に依るものが多いことを忘れてはならぬ。この情勢を導くものは、要は町の実力即ち『和』であると信じる。吾が町は内外に対して『和』の力を捨てぬ様期待致し度い。

さらに良き町づくりのために

町議会議長　仲村正

年り町当局から提案された七頭に十五議案を審議し、町民のあた皆様から出された三十二陳り、情・請願を充分に審査した上で当局に申言し、明るいで新町づくりのため努力しています。

これからも、きびしい社会経済のなかで町、町議会民が一体となり積極的に当面することがらについて前向きの姿勢で、その解決を図り町政の発展に寄与したいと存じています。

四十一年度鷹巣町教育に想うこと

教育長　渡辺勝蔵

三改築もほぼ完成し、新年早十九々に引越す予定である。今年度年の教育関係の仕事はまずこの綴子小学校の竣工という慶ばしい事から始まる。

綴子小学校は、鉄筋コンクリート二階建てのデラックスな校舎に、鉄骨の近代的な屋体と整備されたグランドをもつ立派なもので、県内でも誇り得るものである。

第三学期からこの校舎で学ぶ児童達の幸福そうな顔が目に見えるようである。どうかこの校舎にふさわしいよい子に育ってくれるよう心から祈ってやまないものである。

また四十一年度の新学期から竜森中学校が鷹巣南中学校に統合になるので、校舎の増築、施設設備の充実寄宿舎の新設などたくさんの仕事が控えている。四十一年度で諸々の整備を了えて四十二年度から実質統合する。

そのあかつきは鷹巣南中学校は生徒数約四百五十名、十一学級の強力な中学校になる。このことによって当町には南北に有力な二中学校を配し、義務教育の最後の仕上げをするわけで中学校教育に一層の活気をもたらすものと大いに期待するものである。

社会教育の面においてもこの今年は非常に意義ある大事な年である。八月の末には二日間にわたって、文部省指定の社会体育モデル地区としての公開研究会が開かれ、十月の上旬には全国産業人バレボール選手権大会が当町を会場に四日間にわたって開催されるという対外的二大行事がある。

この全県的全国的大行事の教育的意義は行事そのものの目的、内容、技術を学ぶことは勿論、町民が広く多くの人と接し見聞を広め人間的な接触によって社会性を高める絶好の機会である。従って単なる行事に終ることなく教育的意義を生かし、当町の東北人特有の閉鎖性を解放し積極的であかるい町民への教育効果を高めなければならない。

四年前の国体で大好評をはくした経験を生かし、名実共にこの大行事を成功させたいものと念願してやまないものである。

一月のこよみ

1日　元日
4日　ご用始め、出初式
6日　小寒
7日　七草
11日　鏡開き、蔵開き
15日　成人の日
16日　やぶいり、家庭の日
17日　土用
20日　大寒
町税納期＝町県民税第四期

躍進する鷹巣町を皆さまと共にお祝い申し上げます
昭和41年元旦

町議会
議長　仲村佑次郎
副議長　辻正
議員　高坂豊作　藤島茂治　中島吉美　桜井報三郎　村上儀八郎　佐々木武治　出川礼一　三沢実　成田三郎　永井与蔵　長岐源蔵　佐藤蔵蔵　武田三太　藤原愛実　沢田一義　成田敬治　鈴木重一郎　成田末吉　問渕久蔵　畠山忠光　木村喜八

町長　成田喜八
助役　成田稔
助役　成田仁
収入役　笹原一市

総務課長　藤島修三
財政課長　松尾政雄
税務課長　岐益太郎
保険衛生課長　堀内由蔵
町民課長　畠山喜代治
農林課長　佐藤与兵衛
土木課長　池田竹治
出納室長　佐藤恒治
町長室長　成田克美

農業委員会
会長　小坂保雄
会長代理　長岐源蔵
委員　佐藤健一　桜庭新之亟　九島米蔵　永井清一　中林藤蔵　熊内多次郎　鎌内甚太郎　佐藤一郎　熊脇新一　谷地田勝　村上七郎　佐藤昭次郎　神成三左ェ門　三沢三吉　橋本孫蔵　佐藤茂右ェ門　成田正直　庭桜駒之助　松尾市郎　岩谷勝治　佐藤三郎　高橋省吾　中島吉美　永井徳治郎　三沢修之助　佐藤蔵蔵　千葉武夫　藤島茂治　工藤正二郎　戸沢左右治　由太郎　事務局長　佐藤啓喜

教育委員会
委員長　佐藤徳右ェ門
委員　武内正俊　岩川貢
事務局　教育長　渡辺勝蔵
総務課長　高橋七郎
社会教育課長　松尾盛一

消防
消防署長　成田総一郎
消防団長　若松善市
地区隊長　岩川司（鷹巣）
成田哲郎（七座）
佐藤敏蔵（坊沢）
佐々木武治（綴子）
村上儀八郎（栄）
中島喜治（沢口）
長岐三一郎（七日市）

成人おめでとう

町では435名が新成人に

式典参加者の服装は簡素に

和二十一年一月一五日まで（本町で行なわれる成人式の参加者は昭和二十一年四月一日までの出生者が成人式に参加する）の一カ年間に生れた者で終戦の混乱期にうぶ声をあげたかたです。

成人の日の式典には、年々のことながら女子の参加者が少なくなっている傾向が見受けられます。これは高価な訪問着の着用など服装の華美にとらわれるからではないでしょうか。この点について主催者、婦人会、青年会の話合いによって訪問着着用を廃止するよう呼びかけることになっています。成人式の儀式参加者は大いに反省する必要があるでしょう。

成人と法律

成人とは民法第三条をはじめとして少年法やその他の法律によって明らかなように満二十才以上のひとのことをいいます。

成人になる前は、法律上は独立の社会人としての扱いはなく、種々の特典や制限がありますが、成人になると一人前の人間として権利が与えられ同時に義務を伴うようになります。

成人になり、法律上変わってくる主なものはつぎのようなものがあります。

イ、国会議員から市町村議員に至る公職の選挙権を与えられます。

ロ、結婚などの身分行為を親の同意なしに自由にできるようになります。

ハ、売買、貸借、保証などの法律行為は、未成年のうちは親などの同意が必要で、その同意のない者は取消すことができましたが成人になってからは、そのようなことはできなくなります。

二、犯罪を犯したときは少年法の適用を受けなくなります。未成年のうちは少年法の適用になり犯罪を犯した場合も刑罰を科すより性格の矯正、環境の調整をすることになっていましたが成年になるとこのような保護はうけられなくなります。

ホ、また未成年者飲酒禁止法、未成年者喫煙禁止法などの適用がなくなります。

このような、法律上は満二十才に達した人を社会人としてその能力を認めてはおりますが、二十才になったからといって、成人として気まえに行動するだけでなく、つねに慎重な思考が伴うよう心がけたいものです。

農巣地区

▼東横町－田村耐光、橋本松悦、柴田耕造、石山正彦明石一郎、成田隆男、相馬高男、佐藤君江、神成京子成田ミチ子▼西横町－五代儀サツ、中島礼司、安延レイ子、桜庭美智子、能登妙子▼仲町－成田志郎、武藤洋子、伊藤惠子▼大町－相馬征一、牧野祥昌、長谷川隆司、三日田吉信、加藤良中島ツミ▼学校通－大山博子、沢田妙子、佐藤京子、原昭、長谷川英智子、能登妙子▼仲町－成田志郎、武藤義、河田俊光、藤島和子、北方エミ子、松尾悦子、高馬征一、牧野祥昌、長谷川橋了、武藤一枝▼駅前－河隆司、三日田吉信、加藤良田圀彦、佐藤敏子、河田祥子、河沢妙子、佐藤京子、斎藤貴美子、茂内丹子、成田恵美子、三浦ヨ子▼材木町－原和子、河村ツヤ、松尾恵中島ツミ▼学校通－大山博子、斎藤正美、松井高道、菅千葉敬子、一関京子、佐藤寿子、佐々木ノブ、小沢愛子▼新旭町－西根克彦、島涼子、岩合光子、佐々木正山元益、加賀谷一治、佐藤子▼東仲通－三沢韶子▼農水喜、金谷洋子、成田美和林ウラ－戸沢武雄、成田千子、菊地レイ子、成田陽子代治、富田光子▼東旭町－伊藤敏武彦、貝田博、河田佐々木建夫、黒沢孝一、樽五代儀武彦、貝田博、河田沢房子、中島千鶴子▼西旭まり子、成田和子、木村ウ町－津谷久光、渡辺弘、斎メ、大川厚子、三上昭子、藤光子、成田栄子、伊藤鈴三吉町－五代儀リツ子、子▼甲見町－西根正美、鈴河田悦子▼桜木町－長谷川木長美、戸島千枝、成田良功、大川康子、小平富佐子代子、成田ミサ子、高田良▼元新町－川村準一、佐藤子▼南鷹巣－中島忠蔵、佐正人、高橋勉、奈良誠子、藤茂恵、佐藤ケイ子、間島神成はるみ▼栄町－桜庭六恵美雄、吉良ヤ郎、金子浩司、近藤岩雄、エ子、中島洋子、白川正信河田柱子、岩本洋子、藤島成田信子、桜庭明子、藤田寿美恵、進藤紗智子、津谷精一、神部進、佐藤智子

栄地区

▼太田－村上粕男、松尾俊綾子、宮野寿子、斎藤寿子子、藤島絹子、松尾恵子、花園町－小塚孝、鶴義孝藤島久子、村上和子、松尾紀子、小野ヤサ▼摩当－岩一成田洋一、成田三千雄、岩金弥市、小坂勝司、佐藤金渡辺正泰、藤島俊、戸島留一、福原正男、岩谷ヒデ子男、戸沢三郎、長崎文蔵、岩谷テル子、持地文子▼田野呂文夫、野呂正孝、藤田沢－亀山テル子▼上大沢－セツ子、戸沢和子、▼今泉小坂ツヤ子、田村セツ子▼上大沢－久留島節子▼李岱成田テル子、津谷妙子▼上町－▼坊山－藤原正俊、本宮光谷信子、▼小摩当－本義、近藤岩雄、藤木保－千葉城谷民夫、本城谷テル子千葉敬子▼脇神－中島正勝正、長岐トシ、山城克夫、坊谷美喜子▼大町－桜井捷折戸勝美、神成秋子、佐藤渡辺シホ子、山城純子、佐藤愛子、花田信子▼藤株－節子、佐藤君子、佐藤スミ、松尾ヤエ子、佐藤ヤエ子▼堂ケ岱山田ミツ子、桜田ウメ▼川口－岩脇－岩本定夫▼千葉ツ

坊沢地区

▼相染町－藤島イネ、戸島ヨシ子、佐藤裕子、相馬子▼羽立－長崎孝雄、山行子、大川ノブ、佐々木ルミ子、小笠原幹子、伊藤玲成田テル子、高坂節子、津谷信子、津谷妙子▼上町－谷谷祐蔵、成田美喜子、能津谷祐蔵、成田美喜子、能三浦光子▼中屋敷－近藤克洋子▼与助岱－島山博行、武田良子、島山コト▼松沢藤本昭男、島山チサ子▼藤本昭男、島山チサ子▼三ノ渡－島山貞男、高野義沢トシ子、千代田、出川和子、米佐藤イサ子、出川和子、米佐藤貞夫、佐藤ヤエ子▼明り又－島田愛子、花田信子▼藤株－田中ミキ子、花田雄、島山タマ▼明り又－島田忠、福田洋子▼堂ケ岱々木精一、新田久義、坂田鈴木幸光、鈴木栄子、鈴木水栄子、鈴木、鬼久市、金谷キヌ子、清▼上母沢－藤島貞俊水栄子、明石ナミエ子、清木－相馬鉄治、相馬吉次郎出川久夫▼大堤－藤島貞俊鈴木幸光、鈴木栄子、鈴木三沢信章、三沢正、長谷川満児八名）

▼南鷹巣保育園＝脇神高村岱（定員七十名　うち三歳以上児五十五名、三歳

くらしのメモ

丙午（ひのえうま）

―迷信の世界を打ち破る年―

「来年は、ひのえうまの年だから、こどもが生まれて、もし女だったら将来、嫁にやりにくくなる。……ことしの内にこどもを生んでおこう」などと昨年下半期の出生率が高かったとか。

ことしはそのひのえうまの年に当ります。いまだに地方の農山村地帯では

このひのえうま生まれの女の子をいみきらうところが多いようですが、人間の足が月面に立とうという時にいまさら何年生まれはどうのこうのという時代でもありますまいこんな伝説こそまさに前世紀も前世紀、まさに、むかしむかしのおとぎ話といわざるを得ません。

昨年は二人目のノーベル受賞者―物理学者朝永先生―を出した科学日本にもっともふさわしくないまことに奇妙な風習がこのひのえうまといえましょう。

元来午年とか巳年（昨年）は、方向をあらわす十二支（ね、うし、とら、う、たつ、み、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、いの十二）から由来するといわれています。

午（うま）の名にふりかえられたも重話の世界で、それが女性の人生に影響を及ぼすなど、全く迷信以外のなにものでもありません

ことしは遠慮なく女の子を生んでもらって、ぜひこうした迷信の世界を打ち破る年としたいものですね。

ななくさがゆ

正月七日の朝に「ななくさがゆ」をたいて祝う風習は古くから行なわれたわれわれ日本人の年中行事の一つです。最近はこうした行事もだんだんすたれてきましたが「ななくさがゆ」などは、日本人独特の祝いごとの一つとして受けつがれていきたいものです。

この「ななくさがゆ」を今日的に考えてみると、案外生活の知恵として、わたくしたちの正月の食生活に利用できます。

すなわち、とかく正月は胃腸の負担が過重になり勝ちです。

そこで、野菜がゆで胃腸に休養を与えることは、なにごとに合理的なことといえます。

同時に、とかく冬季に不足勝ちな野菜をとることによって、ビタミンCの補給もできるというわけです。

ですから「ななくさがゆ」の風習は、わたくしたちの祖先が長い年月をかけて直感的に学びとった生活の智恵ともいうことができます。

この「ななくさがゆ」を作るのは、ちょうど、七草のころ、ちょうど、七草のころ、七つの穀物（いね、むぎ、まめ、あわ、あずき、きび、こむぎ）であったようで、これらをかゆにしたいたものでした。それがいつしか七草（せり、なずな、はこべはこべらこべ、すずな、だいこん）などの野草や野菜にかわったものです。

一説には、前者の七穀を正月の供物として供えたあと七日に後者の七草といっしょに雑炊にしたのが「ななくさがゆ」であるといわれています。

七座地区

▼黒沢高橋行男、大川繁行男、戸沢三郎、長崎文蔵、野呂文夫、野呂正孝、藤田セツ子、戸沢和子、▼今泉沢－桜庭六郎、中島正一－伊藤清一

七日市地区

▼七日市本郷－長岐益雄、千葉洋一、長岐光子、長岐正、長岐トシ、山城克夫、山城シホ子、山城ユミ子、山城純子、松前サチ子、佐藤静子、長岐栄子、山館秀一、長岐輝彦、長岐ミヨ子長岐アヤ子、山城友子▼田正一、神成清、神成仁一郎折戸勝美、神成秋子、佐藤節子、佐藤君子、佐藤スミ、神成美保子、神成サヤエ、神成国江、神成チヤ子、部重孝、堀部義美、堀山田良子、島山コト▼松沢米沢国夫、沼田富夫、佐藤岩雄、太田勝男、佐藤清一佐藤イサ子、出川和子、米沢トシ子、出川和子、米タミ、米沢チサ、島山千鶴▼七日市保育園＝七日市（定員六十名　うち三歳以上児五十二名　三歳未満児八名）

▼鷹巣保育園＝東横町（定員九十名うち三歳児七十五名、三歳未満児十五名）

▼綴子保育園＝綴子上町（定員六十名、三才以上児）

▼七日市保育園＝七日市（定員六十名　うち三歳以上児五十二名　三歳未満児八名）

▼南鷹巣保育園＝脇神高村岱（定員七十名　うち三歳以上児五十五名、三歳

七日市地区

▼鷹巣保育園＝東横町

▼綴子保育園＝綴子上町

▼七日市保育園＝七日市

▼南鷹巣保育園＝脇神高村岱（定員七十名　うち三歳以上児五十五名、三歳

保育園入園申込みについて

本年四月から鷹巣保育園綴子保育園、七日市保育園ならびに南鷹巣保育園に児童を入園させたい保護者は次のことをお含みのうえ申込みください。

（定員九十名うち三歳児七十五名、三歳未満児十五名）

▽注意　申込み締切日は15日ですから入園させたい場合忘れないで申込みください。

保育園入園申込み用紙について

◇申込み用紙＝地区担当の民生児童委員から交付を受けてください。

◇申込み期日＝1月15日まで

◇申込み先＝地区担当民生児童委員へ

◇入園通知＝3月20日頃まで保護者に可否を通知します。

その他くわしいことは民生児童委員または町民課福祉係におたずねください。

静子、堀内喜美雄、佐藤正俊、佐藤ヤエ子▼堀内弁▼田中一三沢鶴男、成田ミチエ、三沢京、九島礼子▼掛沢－村上達夫、村上征男、金沢達男、村上得、浪岡京子、工藤悦子、金沢ノリ子、小平富佐子、村上トモ子

未満児十五名）

◇申込み用紙＝地区担当の民生児童委員から交付を受けてください。

◇申込み期日＝1月15日まで

◇申込み先＝地区担当民生児童委員へ

◇入園通知＝3月20日頃まで保護者に可否を通知します。

その他くわしいことは民生児童委員または町民課福祉係におたずねください。

▽注意　申込み締切日は15日ですから入園させたい場合忘れないで申込みください。

＜出かせぎ先から＞

ふるさとへの便り

たかのす広報並に、はげましのお便り御送付下さいまして誠に有難とう御座居ました。

右御礼まで一筆申し上げます。

大阪府南河内郡狭山町池尻　松原組　栄大沢出身者一同